申し合わせ事項

1 競技規則

・本項に定める以外は令和 8 年度版公益財団法人日本パラスポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」により行う。

2 用具について

・ボールは公益財団法人日本バレーボール協会制定のソフトバレーボール（モルテンS3Y1500-WX）を使用する。

・ネットの高さは2m24cmとする。

3 チーム編成及び選手交代について

・チームは最大12名の選手、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名で構成する。なお、監督等が選手を兼ねる場合は、必ず選手登録をすること。（大会当日、事前に申込をした選手の中から最終的な出場選手12名以内を申し出ること）

・試合は6人制で行う。

・男女混合で行う。また試合中は少なくとも1名以上の女性プレイヤーがコート上にいること。

・選手交代は、1セット中に6回まで認める。

・選手交代は、交代する選手が選手交代（サブスティチューション）ゾーンに入った後、副審が主審に合図することにより行う。副審はコートのサイドライン上に交代する選手を止まらせた後、コート内の交代させる選手に手を上げさせる。記録係が交代できることを確認した後、副審の合図で選手を交代する。

・リベロ制を導入するが、採用については各チームの判断とする。

4 ウォーミングアップについて

・試合前の公式ウォーミングアップを除き、ボールを使ったウォーミングアップは所定の練習コートのみとする。

・開会式前までのボールを使用した練習は、第一試合出場チームを優先とする。

5 招集について

・試合開始時刻（大会時アナウンス）を3分遅刻したチームは棄権とする。時間には十分気をつけること。

※試合の進行により開始時刻が変更になる場合がある。試合開始の15分前にはコート脇で待機すること。

・各セット前に、ライン・アップ・シート（その試合のスターティングメンバー、ローテーションのオーダーになるもの）を審判へ提出すること。

6 試合形式について

・1ボールシステムで行う。

・プロトコールは、日本バレーボール協会6人制競技規則に準拠し 11 分で行う。

・予選はトーナメント方式とし、3 位決定戦及び交流試合を実施する。

・第 1・第 2 試合、準決勝は3セットマッチ、15点のラリーポイント制で、2セット先取したチームを勝ちとする。
なお、14対14となった場合は、その後2点リードしたチームをそのセットの勝者とする。不戦勝は2対0（15対0、15対0）とする。

・決勝戦、3位決定戦は3セットマッチ、25点のラリーポイント制で、2セット先取したチームを勝ちとする。
なお、24対24となった場合は、その後2点リードしたチームをそのセットの勝者とする。
※参加チーム状況によって、得点やセット数を変更する場合がある

・第3セットでのコートの交代は、どちらかのチームが8点（予選）または13点（決勝戦、3位決定戦）に達した時に行う。

・1セットにつき各チーム最大2回（1回30秒）のタイムアウトを認める。

・怪我による試合の中断は3分までとする。（交代、復帰が無理で、試合継続が困難であれば、その時点で試合は終了）

・交流試合は、2セットマッチ、15点のラリーポイント制とし、プロトコールは行わない。

7 ポジションについて

・サービス権を得たときに必ずローテーションを行うこと（フリーポジション制ではない）。

8 プレー上の注意について

・サービスは主審のサービス許可の吹笛後8秒以内にボールを打つこと。
・サービスはエンドラインを踏まずに、エンドライン後方より打つこと。
・サービスをダイレクトでアタックもしくはブロックして返すことは認めない。
・ダブルコンタクト（ドリブル）、キャッチボール（ホールディング）、タッチネット等の反則を取る。
・手のひらを上に広げてのアンダーハンドパスは、ホールディングしなければ許可する。

※試合は審判の指示に従うこと。